



その気持ち

誰かを笑顔にさせる種

このポスターは、絵本作家の岩田明子さんの作品です。

萩よりだ協社

Vol. 77

子どもは地域の宝、未来の担い手

2019
4/1

厚生労働省では、子どもや家庭、子どもの健やかな成長について国民全体で考えることを目的に、毎年5月5日のこどもの日から1週間を「児童福祉週間」、山口県では毎年5月を「児童福祉月間」と定めています。子育ては、親だけが担うものではありません。学校や地域の人たちに見守られて成長します。子どもたちが健やかに成長することを社会全体で支え、喜びあいましょう。

「平成」…そして新しい時代へ

平成17年～ ご近所福祉



記念すべき創刊号の表紙です。萩市社協の使命である「誰もが安心して暮らせる福祉のまちづくり」は、地域の人と人をつなぎ、ふれあい、助けあう新しい形での地域社会であり、社協活動を通してお手伝いしてきました。

地域の担い手が、その地域の課題を把握し、解決するために社協と手を組み、サロンを通して地域の「仲間づくり」や「出会いの場」や「見守り」を行ってきました。

平成21年～ お互いの顔が見える(生活圏域)福祉



合併し、広域化した萩市において、生活を基盤とする福祉活動については、全市統一的に行うことは必ずしも効果的ではありませんでした。

そこで、おおむね小学校区程度の範囲で、複数の町内会や民生委員などが連携して、福祉活動を展開する新しい枠組みとして、小地域福祉活動を推進してきました。このことによって、今までは、1つの地区だけでは解決につながらなかった福祉課題も、小地域で行うことで解決することが期待されるようになりました。

萩市社協は、合併以来、「誰もが安心して暮らせる福祉のまちづくり」を念頭に、「平成」が終わり、

「平成」も残すところあと1か月。5月からは新しい時代を迎えます。思い起こせば、「平成」時代の30年間は、福祉関係者にとっても大きな変革の時代でした。バリアフリーやノーマライゼーションの考えの確立、社会福祉関係八法成立、社会福祉法成立、介護保険制度のはじまり、そして地域共生社会に向けた取り組みなど…。

本会においては、介護保険制度に合わせ、介護保険サービス事業に取り組み、地域福祉権利擁護事業やふれあいのまちづくり事業、地区社協設置支援及び育成などを通して、地域共生社会の実現に向けて、いつまでも住み慣れた地域で安心して暮らせるまちづくりを推進してきました。

ここでは、社協だよりを振り返りながら、本会が取り組んできた歴史を紐解き、新しい時代へとつないでいきます。

平成25年～ 災害支援からの新たな地域づくりへ



平成25年10月

平成26年6月

平成25年の萩市東部地域豪雨災害では、甚大な被害を受けました。全国から延べ1万人以上のボランティアが駆け付けてくれて、被災者の心に寄り添う支援ができました。萩市社協は、災害ボランティアセンターを運営する中で、地域の人びとの縁と底力を感じました。

また、集落単位で、「減災のすすめ」を提唱しました。支援の必要な人たちの命を災害時に守る仕組みづくりを通じて、平常時に顔の見える関係づくりの重要性を改めて感じました。

平成27年～ 住民が主役の地域づくり



平成27年7月

小地域で話し合い、解決するためには、組織の基盤づくりが必要です。社協は、小学校区単位での地区社協を設置することを推進しました。萩市内には、現在、15の地区社協が誕生しています。

地域福祉は、その地域に住まわれる住民が主役です。地域住民が主体的に活動できるような体制づくりのために、萩市社協は今後も、地区社協の設置と育成支援に努めます。

新しい時代になっても、地域住民の皆さんが主役となり、自身の地域を考えることができる体制をつくっていきます。

平成31年度 事業計画・予算

今年度は、平成27年4月から全国一斉に開始されている生活困窮者自立相談支援事業を萩市から引き継ぎ、生活課題を抱える方の地域生活を支えるため、包括的かつ継続的な相談支援活動の実施に取り組むことになりました。

「我が事・丸ごと」で、ともに支えあう「地域共生社会」の実現に向けて、引き続き地区社協活動の設置推進と育成支援を行います。

また、萩市では、本年度から萩市越ヶ浜保育

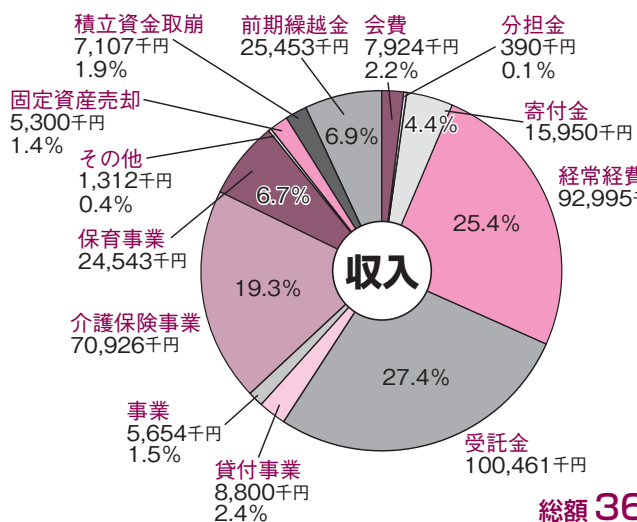
園大井分園を公設民営で行われ、本会に委託されます。

重点目標

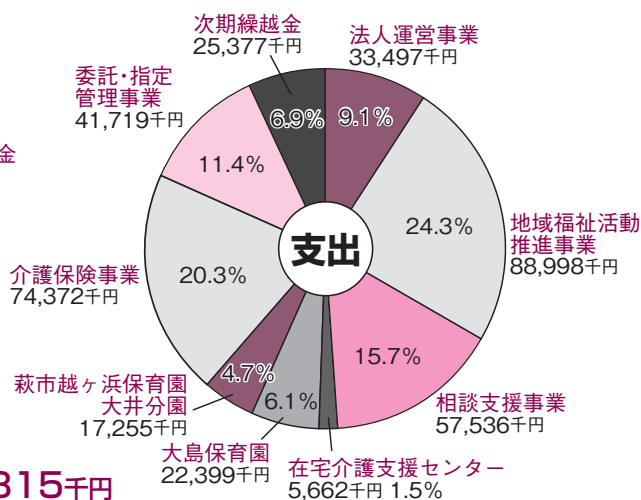
- ①生活困窮者自立相談支援事業の推進
- ②地区社会福祉協議会(地区社協)の設置推進及び育成支援
- ③生活支援体制整備事業の推進
- ④萩市ボランティアセンターの運営

6月30日に竣工式を迎える新総合福祉センターの2階に、ボランティア活動拠点として「萩市ボランティアセンター」を設置します。

平成31年度予算

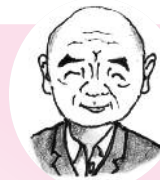


総額 366,815千円



明るく楽しい介護川柳 第7回

介護している人、介護されている人を地域で温かく見守り、励ましたい、そんな願いで「明るく楽しい介護川柳」を募集しました。ジュニアの部は、市内小中学校より89人148作品、高校生・一般の部は、90人150作品の応募がありました。入賞作品を紹介しします。



講評 大場 孔晶

【萩市長賞】

ばあやんがだいすきだからだきしめる

佐々並小2年 木村 心咲

大好きだから抱きしめる、そこに介護の第一歩があります。困難な介護のお手伝いも、ばあやんが大好きだから頑張れます。

さしだす手つながる命笑顔の輪

田中 愛翔

さしだされる手とそれを受ける手。その瞬間につながる命の脈動。笑顔の輪が広がります。

簡略な表現の中に介護の大切なものがリズム良く、明るく詠われている佳句です。

【萩市教育長賞】

手をさし出すぼくが変身まほうづえ

越ヶ浜小5年 梶本 佑大

手を差し出されると僕は魔法で変身して介護の杖になります。ジュニアらしい楽しい温かい夢のある句ですね。

社会資源上手に使いレスパイト

前田 美智子

心身ともに並大抵の苦勞では無い介護、求められるレスパイト。物的、情動的、人的、関係的な資源をうまく利用して介護から一時的な解放を得ます。説明的ですが、やや専門的な裏面的な問題を捕らえた一句です。

【萩市社会福祉協議会長賞】

手伝うよその一言を届けよう

福栄小中 中学部1年 阿武 拓海

さすりほめ笑顔うなずく介護術

三浦 圭三

【萩川柳会長賞】

幸せを介護でつなぐ私たち

福栄小中 中学部3年 藤山 七海

まかせてね買って出ますよ介護役

藤田 品子

【井上剣花坊顕彰会長賞】

あと一段そえた手により上がったよ

佐々並小6年 笠井 愛里

来世ではあなたわたしを介護して

斉藤 充子



ボランティア活動紀行

萩市内で行われているボランティアの活動をシリーズでお伝えしていきます。

知恵と技と力

給食VOの会



平成16年に結成し、現在32名の会員で4班に分かれて、暑い夏場の8、9月を除いた毎月第3水曜にお弁当を平均80食作っています。当番月には各班長を中心に献立を考え、前日に食材の買い出しに行きます。会員の皆さんは、ベテラン主婦で、手際よく作業されます。

5月は「ふれあい昼食会」が開催され、独居高齢者、小学生、各関係者との会食に参加・協力しています。また、各地区のサロン参加者にも好評で利用していただいています。

会員も段々と高齢になってきましたが、皆さんの知恵と技と力を集め、頑張っています。

地域の食材を使って、季節を感じ、食欲をそそるお弁当は、高齢者の皆さんに好評です。



被災地ボランティア

萩光塩学院



東日本大震災の被災地ボランティアに本校の生徒と教員が初めて参加したのは、2012年、震災1年後の春。岩手県大槌町は、津波で壊滅状態。建物の土台だけが残り、改めて地震と津波の恐ろしさを知りました。以後ほぼ毎年、数名の生徒と教員がボランティアに参加しています。当初は、がれきの撤去作業が主でしたが、復興が進むにつれ、仮設住宅での被災者支援や傾聴活動などが中心となりました。その後、熊本地震のボランティアにも2度参加し、今年の冬には、原発事故があった福島のボランティアに初めて参加しました。被災地ボランティアを通して学ぶことは多くあります。

「私は、生き残った者として、生きている意味を考えるようになった。震災は、わたしたちに様々なことを教えてくれた。」深く考えさせられる言葉です。



せっかくの、資格。

職場を見学したい。学びたい。

家庭と両立できる時間帯で仕事がしたい。

保育士の求人・求職情報が知りたい。

経験がない。経験が少ない。フランクが長い不安がある。

将来、保育士として働きたい。

保育士の資格をお持ちの皆さんへ

山口県保育士バンクでは、**保育所(園)で働きたい方と人材を求める保育所(園)の橋渡し**をします。

保育士の経験のある方や保育士資格を有しているけれど働いてない方の就職を支援します。

登録対象 山口県内の保育所等へ就業をお考えの方で、「保育士」又は「保育士となる資格を有する方」

登録すると、再就職に役立つ情報提供や、求人紹介などのサポートも。

介護福祉士等の資格をお持ちの皆さんへ



2017年4月より 介護福祉士資格保有者を生涯支える

離職時の届出制度スタート

登録すると、復職支援のための

求人紹介 技術研修 などのサポートも。

介護福祉士資格をお持ちの方は、離職時に各都道府県福祉人材センターに届け出ることが努力義務となっています。就業中でも介護福祉資格をお持ちの方は届出ができます。下記の研修を修了された方も是非、ご登録お願いいたします。

介護福祉士

介護職員初任者研修

介護職員実務者研修

旧ホームヘルパー養成研修1級・2級課程

旧介護職員基礎研修

問合せ先 社会福祉法人山口県社会福祉協議会 山口県福祉人材センター

〒753-0072 山口県山口市大手町9-6 TEL:083-922-6200 FAX:083-922-6652 http://www.yamaguchikensyakyu.jp/jinzaicenter

善意銀行 ありがとうございます

香典返し・玉串料返し・花料返し

氏名	住所	備考	金額
茂刈 稔	古萩町の2	母/昭子	金一封
増野慎一郎	新川西の1	母/京子	金一封
吹上 寛	相島下	母/ヨシ子	金一封
五嶋 洋	大島沖手	母/ミキ子	金一封
鍵村 一之	大井市場	母/愛子	金一封
中村 和子	雑式町	夫/敬一	金一封
日高 英次	上野の1	妻/眞弓	金一封
石丸 幸人	大井馬場上	母/光江	金一封
福田 正司	玉江浦1区の2	母/キミ子	金一封
中原 康文	大井馬場下	母/安子	金一封
中村憲一郎	土原2区の3	父/太郎	金一封
守永 安志	濁淵	母/壽枝	金一封
松尾 泰之	三見市	母/悦子	金一封
樋崎 忠彦	倉江の1	父/一夫	金一封
中村 秀雄	中津江の1	母/咲子	金一封
下田 洋香	川島1区の1	夫/真人	金一封
杉山 宏忠	椿河内	父/廣治	金一封
藤林 正伸	大井坂本	母/恭子	金一封
柴田 功	江向3区の2	母/ユキ子	金一封
増野 隆志	中ノ倉の2	父/豊	金一封
阿武 泰宏	土原3区の4	父/成治	金一封
元田 幹雄	川島2区の2	父/幸一	金一封
波多野雅太	倉江の1	父/一	金一封
松浦 喜義	大井浦中	母/富美子	金一封
山村ハギエ	新川南の2	夫/忠教	金一封
平田 努	堀内2区の4	妻/香代子	金一封
堀 誠一	雑式町	妻/紀子	金一封
中野佳代子	堀内1区の1	夫/博文	金一封
脇田 文人	江向4区の2	妻/英子	100,000円
井町 宜久	堀内1区の3	父/勝正	金一封
金子 幸江	玉江浦1区	高野 勝	金一封
上田 洋子	三見手水川	母/瀧口スエ子	金一封
安森 靖人	東浜崎1区の1	妻/静子	金一封
正木 健	見島9区	母/敏子	金一封
吉谷 泰典	下関市彦島江の浦町	母/良江	金一封
西生寺	熊谷町の2	前住職/三上淳信	金一封
中島 義人	土原1区の2	母/里子	金一封
藤崎 晋司	玉江浦1区の1	父/晴夫	金一封
八道 博	霧口	父/善助	金一封
伊藤 明夫	大屋の1	母/秀子	金一封
井町 繁明	大島赤穂瀬先	妻/真由美	金一封
山根 良博	相島上	母/スエ	金一封
林 由美枝	大井港浜の1	母/中村貞子	金一封
井町 忠孝	大島浜	妻/和美	金一封
佐々木蔦枝	沖原	母/テルコ	金一封
白上 徳生	上野の2	母/悦子	金一封

寄付者の承認を得たもののみを掲載しています。

※平成30年12月1日～平成31年2月28日受付分(敬称略)

氏名	住所	備考	金額
金子 圭司	三見浦4	父/國香	金一封
川 上			
岩崎 輝利	三徳	母/ミツ子	金一封
田 万 川			
伊藤 賢治	小川2区	母/ミツヨ	金一封
石橋 文夫	小川5区	父/一信	金一封
末益 節子	小川5区	父/誠	金一封
古川 久詞	要二	母/静子	金一封
岩本 良雄	要一	母/ハルコ	金一封
角谷 榮	下中町	妻/京	金一封
椋木 健太	戎一	父/正徳	金一封
む つ み			
弘中 保典	鱒谷	妻/恵子	金一封
大田 道広	鍛冶屋	父/喜弘	金一封
鮎川 早苗	後井	夫/孝憲	金一封
藤村 勝秀	鈴倉	母/陵子	金一封
須 佐			
竹本 好文	下三原下	父/正夫	金一封
柴 喜登志	野頭	母/洋子	金一封
大長 繁	松原	母/ハルコ	金一封
野村 香純	山根丁東	母/順子	金一封
篠原 弘	弥富5区	父/忠熊	金一封
大谷 聡	北谷	父/晟	金一封
青木 智子	横屋丁	夫/剛	金一封
下田 雅子	高山	夫/富善	金一封
土谷 真一	山根丁東	父/眞	金一封
野原 光雄	高山	母/静枝	金一封
河内 敏明	山根丁西	父/弘水	金一封
旭			
溝部 光夫	下市	父/義雄	金一封
山中 照雄	山口市大内長野	母/都智子	金一封
木原 幹愛	長瀬	妻/スミエ	金一封
砂川 恵子	長瀬	母/雪乃	金一封
井上 卓也	高津	父/勝海	金一封
福 栄			
柴田 隆子	堂ヶ迫	夫/克巳	金一封
杉山 隆	生野	父/茂	金一封
水岡 初彦	紫福平原	父/義夫	金一封
大田 悦二	田中	母/久江	金一封
白橋 寄若	生野	母/政子	金一封
片山 晃	栗原	妻/美代子	金一封
藤原 悟	鶴ヶ谷	母/貴美子	金一封
早川 茂友	堀越	母/百合子	金一封
山本 時雄	文捨	父/卓二	金一封
秋枝 勲	黒川	母/サダコ	金一封
平田 裕	紫福殿川	母/トキ子	金一封

一般寄付

氏名	住所	備考	金額
ガールスカウト山口県第18団 河添の1		社会福祉へ	金一封
匿名		社会福祉へ	30,000円

氏名	住所	備考	金額
アイフィット山口	山口市平井	社会福祉へ	10,000円
光永 満	上市	社会福祉へ	100,000円

(香典返し・一般寄付合計 100件 3,160,605円)

物品寄付

書き損じ・未使用はがきは社協へ

書き損じはがきや未使用はがきは、地域福祉活動への寄付になります。少量でも、どんなに古いものでも大歓迎です。

お知らせ

ボランティア活動をサポートします

ボランティア活動をされる皆さんは、もしもの時のためにぜひご加入ください。

【ボランティア行事用保険】

地域福祉活動やボランティアの各種行事において、参加者のケガや賠償責任を補償します。

- 掛金 1名あたり28円 ※最低掛金560円より

【ボランティア活動保険】

ボランティア活動の事故に対する備えとして、無償で活動するボランティアの方々のための補償制度です。

- 補償期間 加入手続き翌日～平成32年3月31日
- 掛金 基本タイプ 1名あたり350円より
天災タイプ 1名あたり500円より

【福祉サービス総合補償】

ボランティア団体・グループで行う有償のボランティア活動（住民主体サービス）も対象になります。

- 補償期間 加入手続き翌日～平成32年3月31日
- 掛金 17円/28円/42円×延活動従事者数

【送迎サービス補償】

ボランティアで行う移送・送迎サービス中において、利用者の傷害事故に対する見舞金制度です。

- 補償期間 加入手続き翌日～平成32年3月31日
- 掛金 * Aプラン（利用者特定方式）
=20円×利用者数×年間利用日数
* Bプラン（自動車特定方式）
=2000円×車の定員数（車ごとに計算）

- 問合せ 萩市社会福祉協議会本所・各事務所

赤い羽根全国ミーティングinやまぐち開催

昨年7月の集中豪雨災害により、延期となりましたが、5月に改めて開催することになりました。共同募金を通して「地域福祉の充実」と「共同募金の再生」の実現につなげることを目的として開催されます。

- 日時 5月30日（木）～31日（金）
- 会場 山口市「ホテルニュータナカ」ほか
- 内容 実践報告、グループワーク、ディスカッションなど
- 問合せ 萩市社会福祉協議会本所・各事務所

生活困窮者自立相談支援窓口開設

- 生活に困っている
- 仕事が見つからない
- 病気で働けない
- 家賃を払えない
- 家族のことで悩んでいる
- 将来が不安

このような生活の困りごとや不安を抱えている人の相談窓口です。支援員が相談を受けて、どのような支援が必要かをあなたと一緒に考え、具体的な支援プランを作成し、寄り添いながら自立に向けた支援を行います。

4月1日から窓口を萩市福祉事務所から引き継ぎました。

- 問合せ 電話 0838-25-3620

第18回 法と福祉のセミナー

身近で法と福祉の双方が関わる問題を取り上げ、その解決の道筋を一緒に考えるセミナーです。今年は「子どもの福祉」について、分かりやすく解説します。

- 日時 6月25日（火） 14時～16時
- 会場 サンライフ萩
- 入場料 無料
- 主催 萩法律相談センター

NASVAの被害者支援制度

独立行政法人自動車事故対策機構（NASVA）では、自動車事故による重度後遺障害者やご家族、ご遺族のために被害者支援を行っております。

- 療護施設（病院）の設置・運営
- 介護料の支給と支援
- 交通遺児等への無利子貸し付けと「友の会」
- 交通事故被害者ホットライン

詳しくはホームページ

<http://www.nasva.go.jp/sasaeru/index.html>
をご覧ください。

大作戦②

人を知ろう!

人と名前が分かることを目指しました。思いついたのは、**顔**名鑑です。地域の中に出かけて行き、お願いし、カメラで撮らせていただきました。



三浦さん 藤家さん 杉山さん 佐々木さん

50人近くの方に協力いただき、名鑑を完成させました。下の学年の子どもたちに受け継いでいきたいです。

町で出会ったら「〇〇さん」と声をかける関係ができればいいなあと思います。



萩市立佐々並小学校6年
山根 伽音 笠井 愛里

佐々並の概況

人口 624人
世帯数 285世帯
高齢化率 55.3%

私 たちの小学校には、絵本の読み聞かせ・除草作業・田植えや稲刈り・盆踊りの練習など、授業や多くの行事に地域の方に来ていただいています。どこの団体のどなたに来ていただいているのか、正直なところよく分からないまま、学校生活を送ってきました。



どこの団体のどなたに来ていただいているのか、正直なところよく分からないまま、学校生活を送ってきました。

本 当にこれでいいのかな？

町で出会っても会釈はするけど…。本当は、相手の名前も分かって声かけられたらお互いに嬉しいだろうな、と思ったことをきっかけに、佐々並にどのような団体があり、いつ頃立ち上がり、どんな活動を、誰がされているのか知ることを目的に「総合的な学習」の時間を使ってインタビューを重ねました。



6年生の声

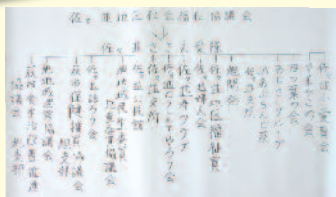
たくさんの方が支えてくださって私たちは、佐々並にすめているんだなあと感じています。これからは感謝の気持ちを忘れずにできるだけ地域の行事に参加して地域の方にも話しかけていこうと思います。(笠井)

地域の方に出会ったら元気よく大きな声であいさつをして、私たちががんばっている姿をみなさんに見ていただきたいです。(山根)

この学習をきっかけに、今まで以上に佐々並地域への愛着をもち、地域の一員として佐々並を支えてくれることを願っています。(担任：田原)

大作戦①

地域を知ろう!



平 成29年に地区社協が立ち上がり、色々な団体で組織されていることが分かりました。左の図は組織図です。

こんなに沢山の皆さんが佐々並を支えて下さっていることを初めて知り、驚きました。さらに団体がどのような活動をされているのかインタビューし聞き取りを行いました。

聞 き取りをしていると、団体には歴史があり、発足した理由も地域のために、なんとか力になりたいという想いから立ち上がっていることを知りました。一つ一つの団体が、地域を守るため人が笑顔になれるよう、困っている人を助けるため、人が集まれる場ができるようにと願いを込めて活動されていることを知りました。



ありがとう

を伝えたい!

～コミュニティ・ルームを整備しました～



学校内にあるコミュニティ・ルームをリニューアルし、地域の方に気軽に立ち寄りいただけるように整備しました。ぜひ、お待ちしております。

佐々並の声

地域に目を向け、団体活動取材しまとめ、学校内に立ち寄れる場所を作っていただいたことをありがたく思います。

一日でも長く住み慣れた佐々並で生活できる地域づくりについて、小学校と共に取り組んでいきたいと思っています。

